

第4期富山県食育推進計画の進捗状況の概要

＜基本目標＞
「県民の健康で豊かなくらし」と「持続可能な食」の実現

資料1

【これまでの経過】

H17.6	食育基本法制定
H17.9	富山県食育推進会議設置 (全国に先駆けて条例で設置、会長：知事)
H18～H22年度	富山県食育推進計画(第1期)
H24～H28年度	富山県食育推進計画(第2期)
H29～R3年度	富山県食育推進計画(第3期)
R4～R8年度	富山県食育推進計画(第4期)

計画推進の視点

健全な食を通じた県民の健康維持・増進

農林水産業への理解、環境への配慮、食文化の継承

推進施策	現計画期間中(R4)の実績の概要	目標指標の状況	4期策定時 R2	前年度 R3	現状 R4	目標 R8
I 多様なライフスタイルに対応した食育県民運動の展開						
1 食育推進運動の展開と推進体制の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ◇新たな日常やデジタル化に対応した食育推進運動の展開 ◇食育推進体制の充実 ◇SDGsの理念を踏まえた食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま食育推進フォーラムの開催(1回) ・野菜生産者とオンラインでつないだ「とやまの食材でつくる親子料理教室」を開催し、アーカイブで配信 ・富山型食生活モデルメニューや富山の郷土料理を食育リーダー等の活動や「富山型食生活レシピ動画コンテスト」(応募121件)を通じて普及・PR ・「栄養の日(8/4)・栄養週間(8/1-8/7)」を中心とした栄養バランスの良い食生活の普及・啓発 ・各地域(厚生センター)による食育連絡会、研修会の実施や関連教材の貸出し(61回)、出前イベント(2回) ・食育リーダー(栄養士等55人・団体が登録)の研修(年2回)及び地域の講演会・研修会への派遣(38回) ・第18回食育推進全国大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○「食育」に関心がある県民(成人) 94.6% ○カロリーやバランスを考慮して食事をする県民(成人) 57.0% ○富山型食生活を実践している県民(成人) ・ご飯を1日に1回以上食べる 93.9%(H28※1) ・野菜を1日に350g(小鉢5皿程度)取る 26.7%(H28) ・魚介類を1日に1回以上取る 68.4%(H28※1) 			<ul style="list-style-type: none"> 90.4% 54.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 95%以上 70%以上 100% 50%以上 80%以上
II 生活のあらゆる場面での心身の健康を支える食育の推進						
2 家庭における食育の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ◇望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発 ◇家庭における楽しい食生活の実践と支援 ◇多様なライフスタイルに対応した取り組みやすい食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「食育ランチマット」や「食育カレンダー」を活用した「毎日しっかり朝ごはん運動」の推進 ・「とやまゲンキッズ作戦 健康づくりノート」を活用した、子どもの望ましい生活習慣や食習慣の形成に向けた啓発 ・親子で作る簡単料理動画の募集キャンペーンの実施による、親子での取り組みの普及・啓発 ・「とやま子育て応援団」制度(協賛店舗数2,082)の推進による、「家族そろっての食事」の普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食を欠食する県民の割合 (小学校5年生) 1.1% (中学校2年生) 2.3% (20歳代) 11.4%(H28※1) (30歳代) 3.8%(H28※1) ○家族で朝食また夕食を取る県民(成人) 91.8%(R1) ○脂肪から摂取するエネルギー比率 (20歳代) 28.3%(H28) (30歳代) 27.1%(H28) ○食塩の1日当たりの摂取量 (男性) 11.0g(H28) (女性) 9.1g(H28) ○肥満者(20～60歳代男性) 29.5%(H28) 			<ul style="list-style-type: none"> 1.0% 2.6% 92.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 限りなくゼロに近づける 5%以下 5%以下 95%以上 20%以上 30%未満 7.5g未満 6.5g未満 25%以下
3 学校・保育所等における食育の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ◇学校給食等を通じた食育の推進 ◇家庭・地域等と連携した食育の推進 ◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を増員(R3:53人→R4:57人)し、学校給食を「生きた教材」として活用した食に関する指導の充実 ・農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制整備等、学校・家庭・地域が連携した取り組みを実施 ・地元の農産物や県内食材を積極的に使用する「学校給食とやまの日」を実施 ・子育て世代を対象とした食育講座への食育リーダー派遣等により、家庭内での望ましい食習慣の形成を推進 					

4 地域・職場における食育の推進						
◇地域全体で食育に取り組む体制の充実 ◇健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進 ◇健康寿命延伸に向けた食育の推進 ◇地域における共食の推進 ◇災害に備えた食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・若者世代を対象とした食育講座や調理体験等の食育実践活動の開催（6回、78人参加） ・食生活改善チェックシートを活用した食育リーダー等による普及やイベントでの啓発 ・「野菜をもう一皿！食べようキャンペーン」の実施（小売店等の協力による普及啓発）（協力店 661 店舗） ・野菜たっぷり、減塩、シニア向けのメニューを提供する「健康寿命日本一応援店」の募集（267 店舗） ・高齢者を対象とした、食と健康や正しい食習慣に関する食育講座への講師の派遣 ・高齢者の食支援を担う人材育成の講習会の開催や、低栄養予防の普及啓発媒体の作成・配布 ・地域住民対象の「元気とやま食生活改善クッキング」の開催（34回、911人） ・こども食堂の設置支援（R4における県内のこども食堂数：38箇所） ・地域住民等を対象とした災害時の食の備えに関する講習会（9回）の開催、普及啓発媒体の作成・配布 	○低体重者（20～30歳代女性）	23.1% (H28)	14.8% (※2)	—	15%以下
		○低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合	15.1% (H28)	18.3% (※2)	—	20%以下
Ⅲ 持続可能な食を支える食育の推進						
5 地産地消や食の循環、環境に配慮した食育の推進						
◇地産地消を通じた農林水産業への理解促進 ◇学校給食を通じた県産食材への理解増進 ◇生産者と消費者の交流促進 ◇食品ロス等の発生を減らす食生活の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地場農産物の生産拡大支援とHP等での直売所・インショップの紹介 ・「とやまの旬の応援団」の募集・登録（R5.3時点：7,352個人・団体）・活動支援 ・県産品の優先選択につなげる「県産品購入ポイント制度」実施（応募数18,683件） ・青果市場をコーディネーターとした生産者と学校給食現場のマッチングなどを実施（食材情報共有、産地視察、児童向けの地産地消動画の作成） ・地場産品を活用した新商品の開発や直売等に取り組む農村女性の起業活動の支援（女性起業件数193） ・「越中とやま食の王国フェスタ」での富山の食材や越中料理の紹介 ・水産業への理解醸成に向けた高校生等への魚食セミナーの開催（20回）、県内小学5年生への副読本の配布、学校給食への魚の提供（18万9千食） ・子どもや地域住民を対象とした農林漁業体験や地場産食材を活用した料理教室の開催（参加者1,723人、27箇所） ・商慣習見直しに係る実務研修会を開催 ・「食べきり3015運動」協力店（90店）及び「食べきりサイズメニュー」導入店（122店）を通じた食品ロス削減の県民への周知 ・期間間近商品の優先購入促進キャンペーンを通じた食品ロス削減の県民への周知 ・富山県食品ロス削減推進計画ハンドブック、商慣習見直し事例集、子ども向けパンフレットの作成 ・小学校での食品ロス学習（10歳児対象、63校、3,038人） ・フードドライブ（家庭で余っている食品を集め、必要としている福祉団体等に寄付する活動）の推進 ・フードバンク活動（包装の印字のズレなどにより通常の販売が難しい食品を食品メーカー等から引き取り、必要としている福祉団体等に寄付する活動）の拡大 	○県産品を意識して購入する県民の割合	56.7% (R3)	56.7%	—	80%以上
		○直売所・インショップ販売額	38.2億円	38.3億円	39.4億円	45億円以上
		○地産地消アプリ「食ベトクとやま」ユーザー数	1,410人 (R3)	1,410人	5,600人	8,000人以上
		○学校給食における県産食材の活用率（野菜・果実等）	25.1%	24.9%	23.4%	32%以上
		○農林漁業体験者数	71,000人 (R1)	30,816人	39,206人	74,200人以上
		○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合	81.3%	90.7%	89.7%	90%以上
6 魅力ある食文化の継承・創造						
◇富山の伝統的な食文化の伝承 ◇新たな食文化の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・「とやま食の匠」の登録（R5.3時点 180個人・団体：特産の匠74、伝承の匠57、創作の匠49） ・「三世代ふれあいクッキングセミナー」を開催（77回実施、2,158人参加） ・富山県ふるさと認証食品の認証とPR（累計認証数（R5.3時点）：42品目・375商品） ・地域の農林水産物を活用した加工・直売等の6次産業化の取組みを支援（5件） 	○「とやま食の匠」の伝承活動参加者数	179人 (R1)	47人	62人	400人以上
		○「富山県ふるさと認証食品」新規認証数	7商品	13商品	7商品	10商品程度
7 食の安全確保の推進						
◇安全な農林水産物等の供給 ◇食に関する情報の理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全フォーラムの開催（R4テーマ：「食品の安全性について考えよう！食の安全を守る取組みと基礎知識」 参加者115名） ・「食の王国フェスタ」に食品安全関連ブースを出展、「とやまポーク応援フェア」の開催 ・食の安全・安心ホームページの運営（食品安全や表示等に関する情報提供） ・食品表示講習会の開催（10回）、研修会等への講師派遣等により、食品関連事業者等への適正な食品表示を指導 ・「食品表示ウォッチャー」による食品表示実態調査（1,084店舗）の実施 	○食品表示が適正な店舗の割合	97.4%	98.1%	97.2%	100%

（※1）健康県民栄養調査より。概ね5年ごとの調査だが、R3はコロナ禍のため、当該調査項目は調査なし。

（※2）健康県民栄養調査より。R3はコロナ禍のため、調査方法及び集計方法が異なり、単純比較できない。